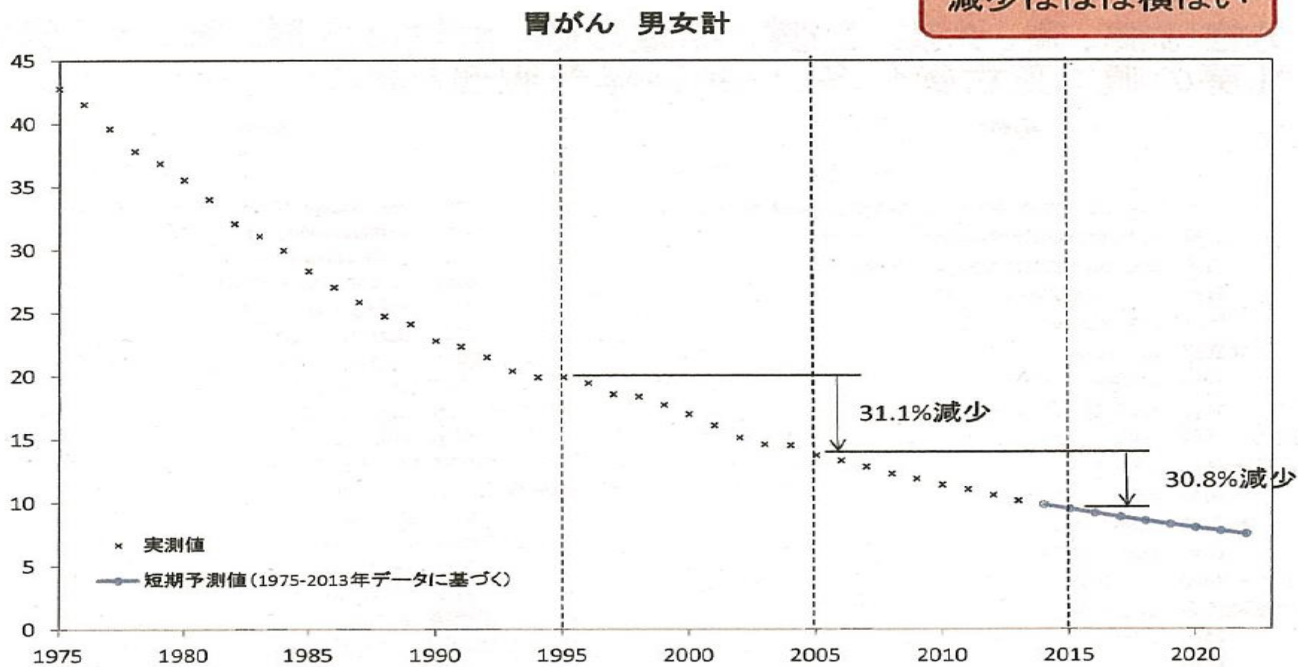


がん対策推進基本計画策定時（2005年）から10年後（2015年）の年調がん死亡率予測

国立がん研究センターがん対策情報センター 若尾文彦氏資料より

死亡率の変化率 胃がん(男女計)

減少はほぼ横ばい

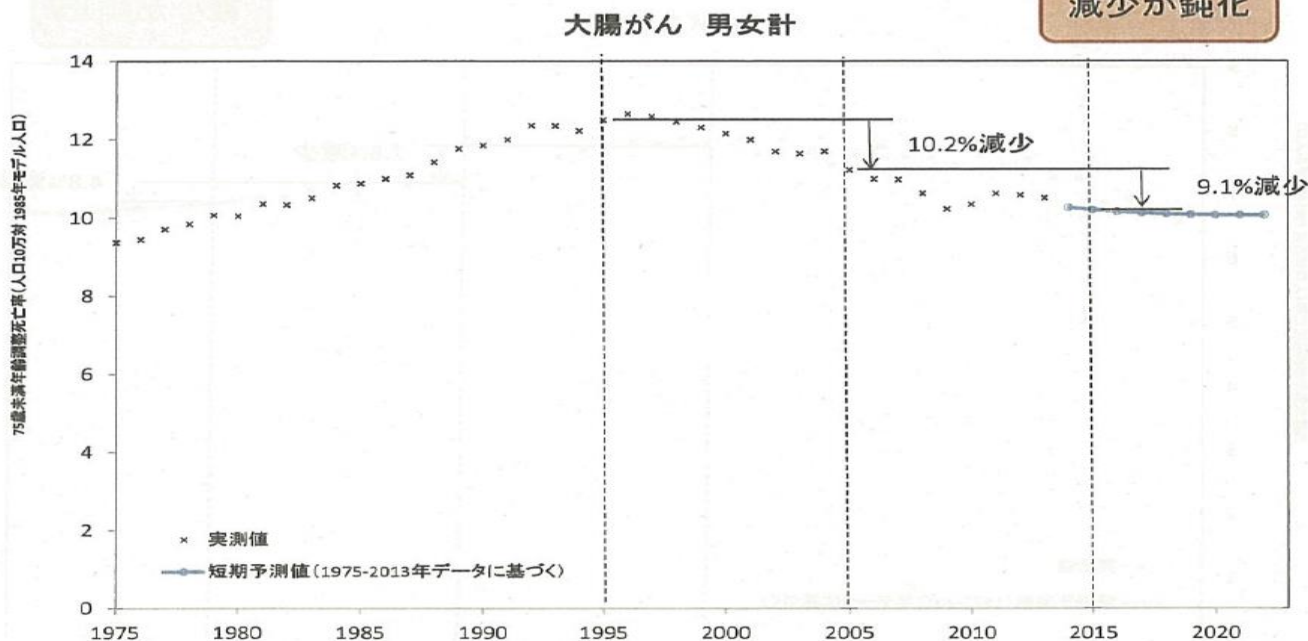


国立がん研究センターがん対策情報センター ganjoho.jp

8

死亡率の変化率 大腸がん(男女計)

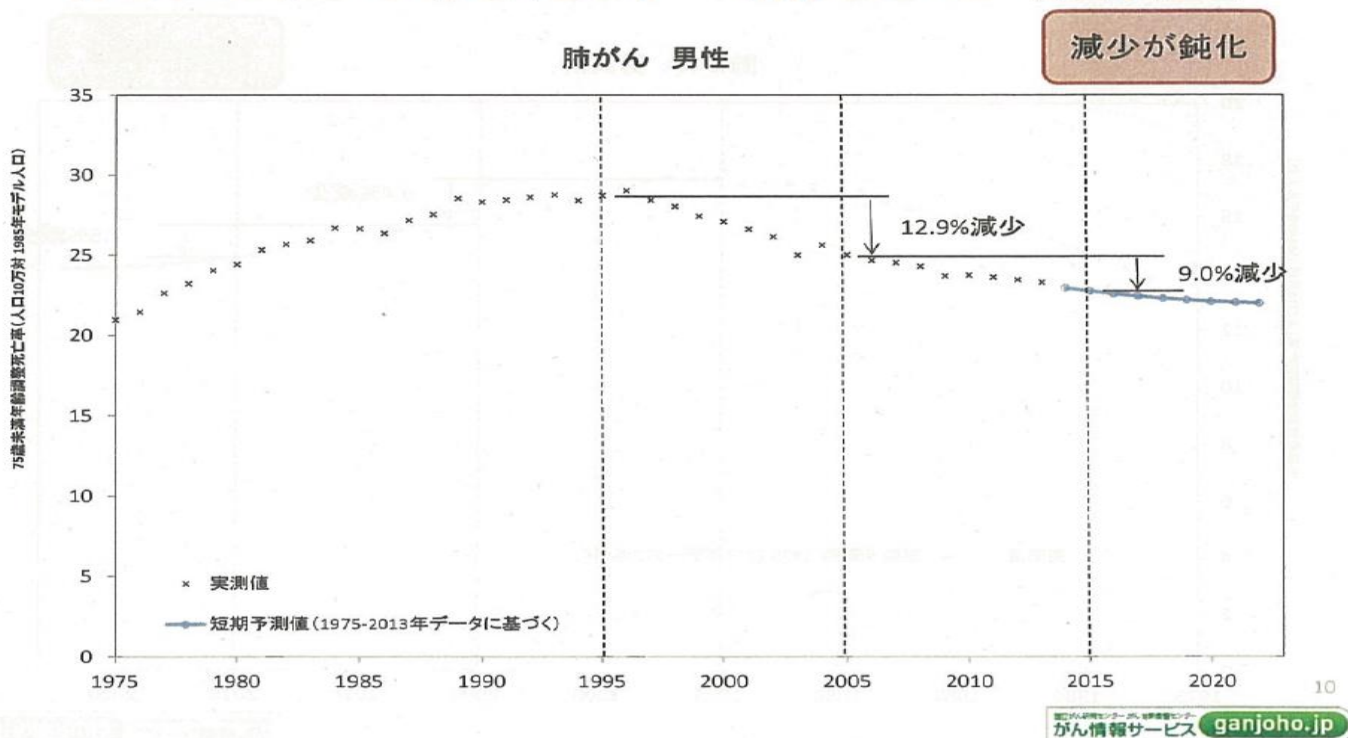
減少が鈍化



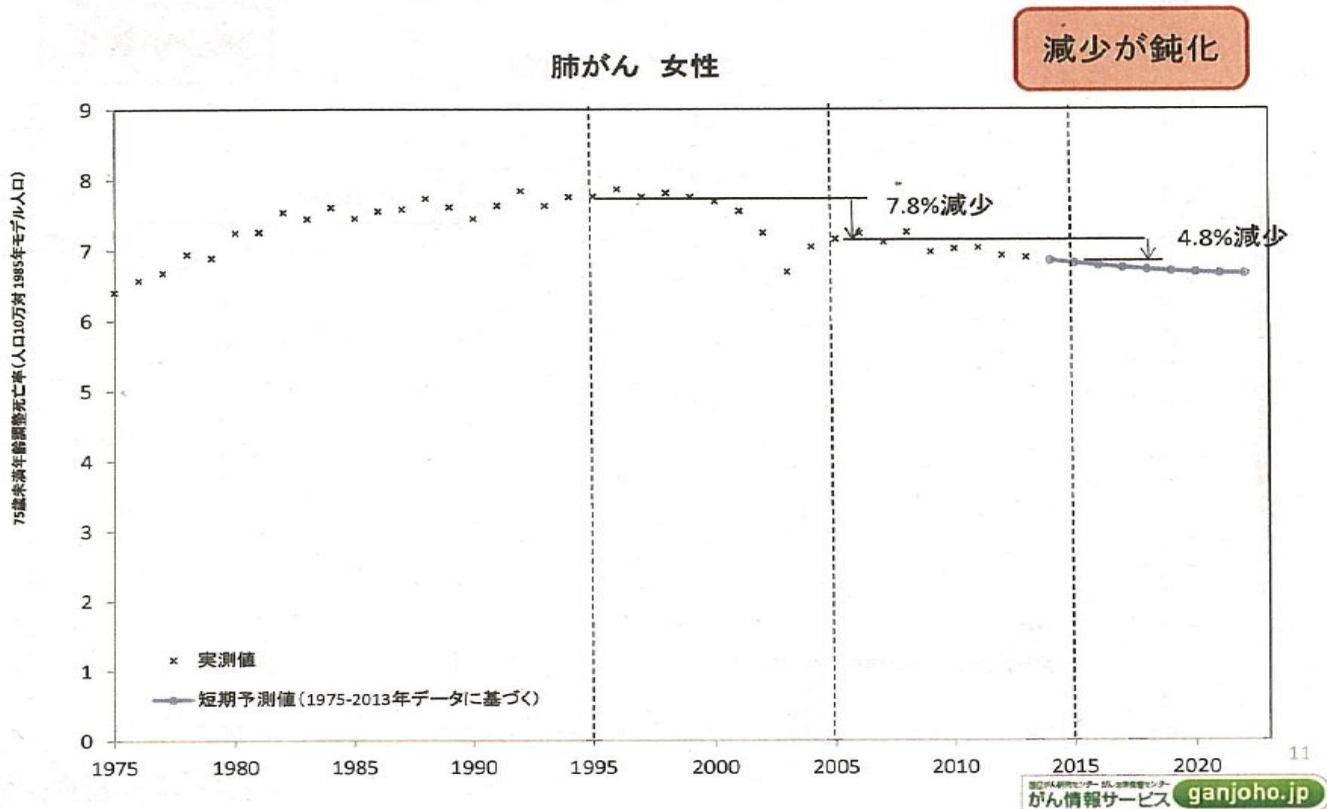
国立がん研究センターがん対策情報センター ganjoho.jp

9

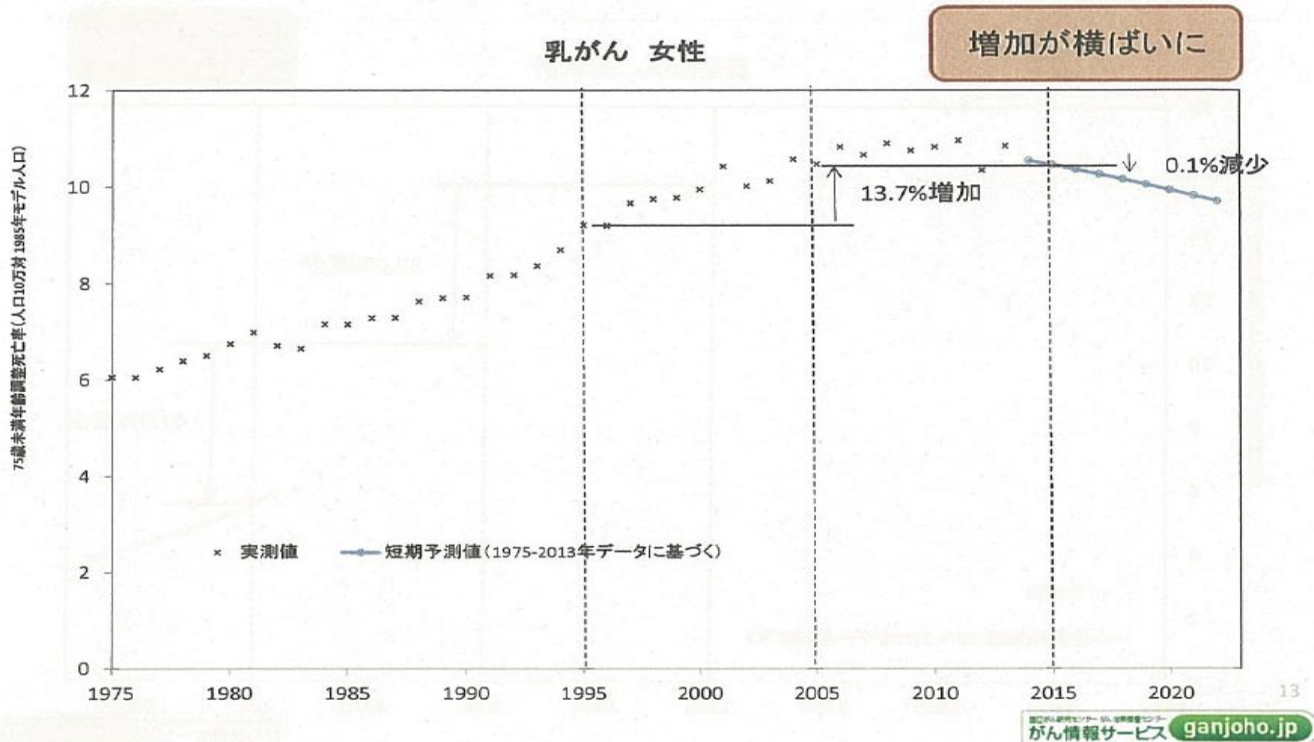
死亡率の変化率 肺がん(男性)



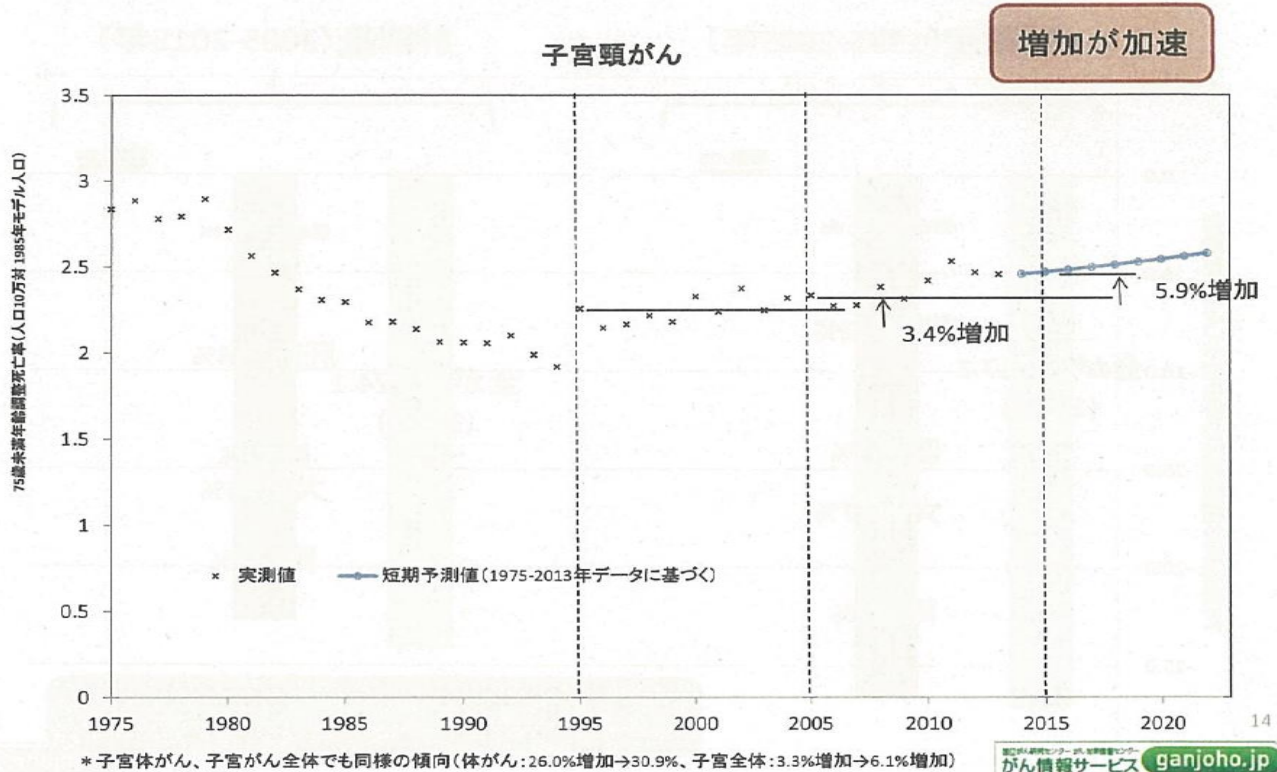
死亡率の変化率 肺がん(女性)



死亡率の変化率 乳がん(女性)

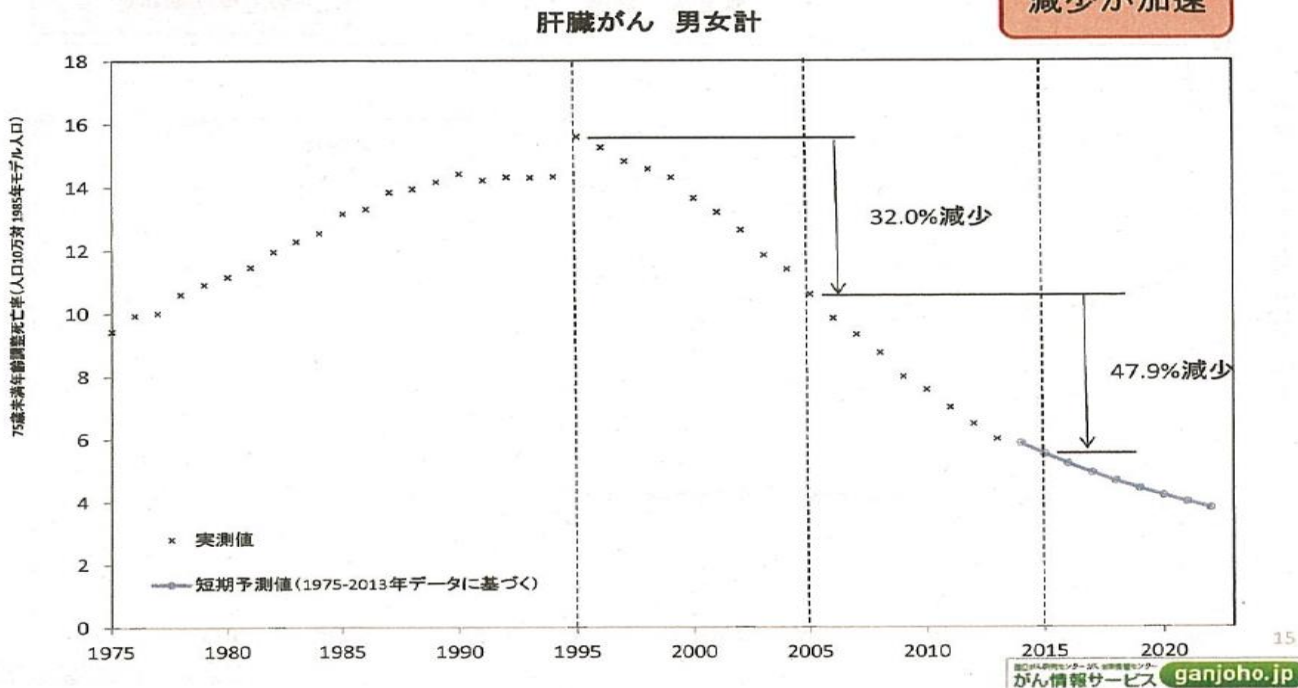


死亡率の変化率 子宮頸がん

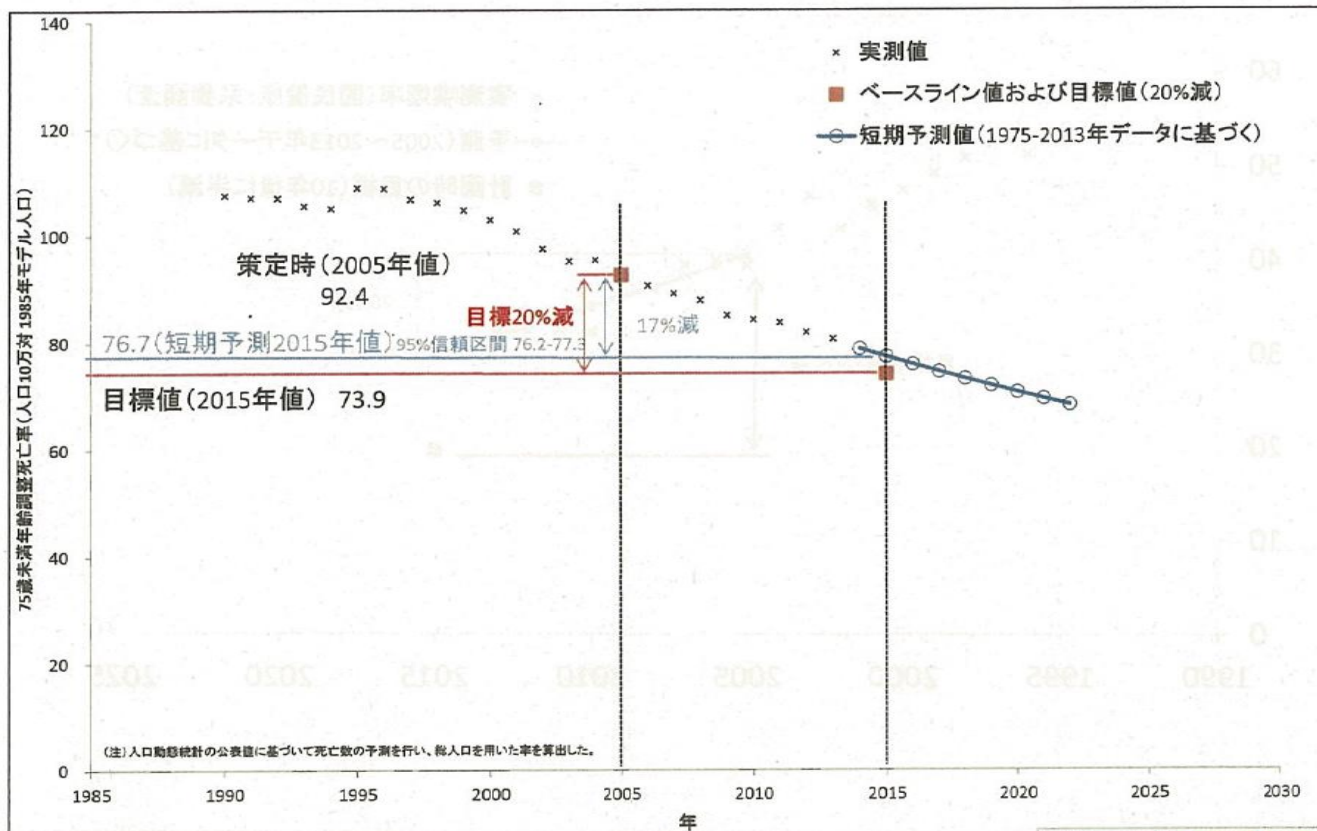


死亡率の変化率 肝臓がん(男女計)

減少が加速



結果: 全体目標は85%の達成度(死亡率17%減)



* がん患者の期待に応えるがん対策推進基本計画の策定のために(<http://ganjoho.jp/public/news/2007/20070927.html>)

対策の達成度の検討

・ がん対策推進基本計画策定時の20%減の内訳¹

| | | | |
|---------------|------|--------|---------|
| 自然減: | 10% | } 約10% | } 合計20% |
| 喫煙率半減: | 1.6% | | |
| がん検診受診率50%達成: | 4.0% | | |
| がん医療の均てん化: | 4.7% | | |

・ 現時点での2015年予測

| | | |
|---------------|------|---------|
| 自然減: | 10% | } 合計17% |
| 喫煙率半減: | 0.2% | |
| がん検診受診率50%達成: | 2.5% | |
| がん医療の均てん化: | X% | |

20

1. がん患者の期待に応えるがん対策推進基本計画の策定のために(<http://ganjoho.jp/public/news/2007/20070927.html>)



■ 国の動向と比較した場合、山梨県の5大がん等の年調死亡率年次推移はどうか・・・。
10年でがんによる死亡率20%削減に近づけるために以下を提案する。

国の第2次がん対策推進基本計画中間評価報告書を受けて、山梨県がすべき対策

- 1、喫煙率の減少：喫煙率減少の目標値12%（国民健康・栄養調査）にするための対策
すべての医療機関、官公庁に加えて学校においても全面禁煙を達成するための取り組みが必要
- 2、がん予防及び検診受診率の増加・・・がん検診受診率50%以上 早期発見・早期治療につなげる施策
特に子宮頸がんに対する施策の充実及び防げるがんは防ぐための施策や基礎自治体による取り組み格差の是正
- 3、がん医療の均てん化対策
標準治療の実施率調査等医療施設の現況調査および、患者体験調査等により、がん医療の均てん化がどれくらいなのか現況調査を行う
- 4、全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上に向けて
患者体験調査実施の必要性・・・国の調査を4拠点病院と診療病院で実施
がん教育の充実・・・国のモデル事業を参考に
- 5、がんになっても安心して暮らせる社会の構築
がん患者の就労支援、企業との連携、小児がん、AYA世代（思春期及び若者世代）への対策含む